

【卓球】

全日本卓球選手権大会

天皇杯・皇后杯2020年全日本卓球選手権大会が、1月13日から19日の1週間、丸善インテックアリーナ大阪（大阪府中央体育館）で開催され、宇田君が男子シングルスで初優勝をかざりました。

また、小塩さんが女子ジュニアシングルスで、長崎さんが修了生の張本君（木下グループ）との混合ダブルスで、それぞれ準優勝を果たしました。

宇田君は、非常に良い集中力の中、最後まで諦めずに戦うことができました。特に決勝では、優勝経験のある張本君との対戦となり、ゲームカウント3対1とリードしたものの、その後、追い付かれましたが、粘り強い試合運びで勝利することができました。今年度に入り、レベルの高い国際大会を数多く経験し、その中で競技力を高めたことが、今回の結果に繋がっています。

小塩さんは、昨年11月に行われた世界ジュニア卓球選手権で、準優勝を果たしており、今回はその実力が試される試合となりました。決勝までの試合の中では危ない場面も見られましたが、カットマン特有の様々なスピンのかかったボールで対戦相手を翻弄し、準決勝進出を果たしました。決勝の相手は、カットマンを得意としており、小塩さんの得意のボールを打ち返しました。反撃の手段が少なくなりゲームカウント0対3で敗退し、優勝を逃しました。

長崎さんと木原さんの女子ダブルスは、12月に行われた2019ITTFワールドツアーグランドファイナルで優勝を飾り、今大会でも優勝の期待がかけられました。4回戦で昨年の世界選手権で銅メダルを獲得したペアに勝利するなど実力を発揮しましたが、準決勝でいつも通りのプレーができず、決勝進出なりませんでした。

また、今大会には20名を超える修了生が出場しました。全日本選手権という日本で最も権威のある大会に数多くの選手が出場し、その中で優勝争いに加わる修了生が、何名もいることは、JOCエリートアカデミーにとって喜ばしいことです。



(卓球協会HPより)

【卓球】

ワールドツアー・グランドファイナル

2019ITTFワールドツアーグランドファイナルが、12月12日から15日まで鄭州（中国）で開催され、女子ダブルスで長崎さん・木原さんのJOCエリートアカデミーペアが優勝を飾りました。

この大会は、ワールドツアースタンディングとよばれる獲得ポイントの上位者によってのみ争われる大会で、女子ダブルスは上位7ペアと開催国枠1ペアの合計8ペアが出場しました。



(卓球協会HPより)

長崎さん・木原さんペアは、1回戦でスロバキアとチェコペアを3対2で下すと、準決勝では中国ペアとの対戦。第1・2ゲームを落とし、大苦戦となりましたが、そこから挽回し、第4・第5ゲームは接戦となり、それぞれ14対12という僅差で勝利を収めました。

勢いに乗った長崎さん・木原さんペアは、決勝で韓国ペアとの対戦。このペアとは10月のドイツオープン決勝でも対戦し、その時は1対3で敗戦。今回は韓国3対0で勝利し、優勝を果たしました。

長崎さんのコメント：『この1年間二人でダブルスを組ませてもらって大会を重ねるごとに自分たちの良くない所を知ることができそれを改善して良さを発揮できるようになってきたことが、今回の優勝に繋がったと思います。2人で常に大切にすることは、楽しく試合をすることです。実際に、練習で見たことのないプレーが試合中に沢山あってすごく楽しい場所でした。今年最後のワールドツアーを最高の形で終わることができたのは、美悠や指導して下さるコーチやサポート、応援して下さる方々の協力があるからだと思っています。まずは感謝の気持ちを伝えたいです。』

木原さんのコメント：『今回グランドファイナルで優勝出来て本当に嬉しい気持ちと信じられない気持ちでいっぱいでした。準決勝では世界選手権で優勝した中国ペアにまさか勝つ事が出来るとは思っていなかったのが起こっているのか分からなかったです。一、二ゲーム目はチャンスがなくてすごく恥ずかしかったのですが、何か変化をしないと中国ペアには勝つ事が出来ないという意識を持って後半は私たちの得意なパターンで楽しく笑顔で相手に向かっていく気持ちで最後の一本まで我慢する事が出来たので勝利につながったと思います。』

【レスリング】

クリッパン女子国際大会

1月17日から19日までクリッパン(スウェーデン)でクリッパン女子国際大会が開催されました。この大会は例年2月中旬に行われていますが、オリンピック・イヤーの関係で1月の開催となりました。

エリートアカデミーからカデット49kg級に坂本さん、同じく61kg級の尾崎さんが出場し、それぞれ3年連続の優勝を果たしました。

また、シニアジュニア76kg級に出場した鏡さんも優勝し、JOCエリートアカデミーから出場した3名全員が優勝を果たしました。



【左から吉村コーチ、鏡さん、尾崎さん、坂本さん】

【フェンシング】

JOCジュニアオリンピックカップ

JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会が、1月9日から12日まで駒沢オリンピック公園体育館で開催され、男子サーブルカデとジュニアの両方で坪颯登君が優勝を飾り、二冠を達成しました。

カデは昨年の大会でも優勝を果たしており、今年度も落ち着いて試合運びで優勝を果たしました。

一方、ジュニアは大学生が多く出場しており、坪君にとっては一つ上のカテゴリーであり、実力が試される試合でもありました。

準決勝は、最後まで纏れる試合となりましたが、15対13で勝利し、決勝に進出。決勝は疲れも見えていましたが、坪君が『雑になったり、下がったりせず、しっかり前で勝負できるように踏ん張った』とコメントしているように、最後まで丁寧な試合運びで、15対12で勝利し、優勝することができました。

昨年の秋にケガをし、治療とリハビリを行いながら段階的な競技復帰を目指しており、まだ完治までには至っていませんが、苦しい状況の中で、時間をかけながら少しずつ自分自身や自分の怪我と向き合えるようになりました。それが今大会の結果に繋がっています。

今大会の結果で、世界選手権日本代表にも内定しており、そこでも成長ぶりをみせてほしいです。



【表彰台での坪君】

【オリンピック】

出場権獲得

東京オリンピックの出場権を、レスリングの乙黒拓斗君(山梨学院大:4期生)・卓球の平野美宇さん(日本生命:6期生)の、2名の修了生が獲得しました。

乙黒君は12月22日に駒沢オリンピック公園体育館で行われた天皇杯全日本選手権大会フリースタイル65kg級で優勝を果たし、出場権を獲得しました。

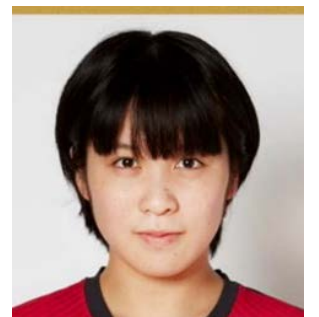
平野さんは、これまでの実績により1月6日に日本卓球協会から代表候補者として選考されました。これで、オリンピック出場はレスリングの向田真優さん(至学館大:3期生)と卓球の張本智和君(木下グループ:9期生)と合わせて4名となりました。

この2名以外にも、レスリング女子50kg級で須崎優衣さん(早大:6期生)が3月に行われるアジア地区予選に出場が決定しました。

また、レスリングフリースタイル74kg級で乙黒圭祐君(自衛隊:3期生)が3月に行われるオリンピック代表決定プレーオフに出場することになりました。



【乙黒君】



【平野さん】

【オリンピック】

ユースオリンピック冬季大会結団式

1月6日(月)、ローザンヌ(スイス)で1月9日~22日までの14日間開催される第3回ユースオリンピック冬季競技大会の出発前の”Building UP For Team JAPAN”に鏡さんが登壇しました。2016年に開催された第3回ユースオリンピック夏季大会(YOG)で旗手を務めた経験や、優勝を目指しながら、銅メダルに終わった当大会の悔しさが、その後の快進撃に繋がっていることなどを紹介。

加えて『YOGと一緒に頑張った仲間とは今でもつながっていて、お互いに励まし合っています。YOGは本当に貴重な経験になるので、皆さんにも良い思い出にできてほしいなと思います』と選手団にエールをおくりました。



【壇上でスピーチする鏡さん】



公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356